

区民推薦

写真で見る

つづきの景観

50

TSUZUKI



港北ニュータウン記念協会



# 写真で見る つづきの景観50

.....

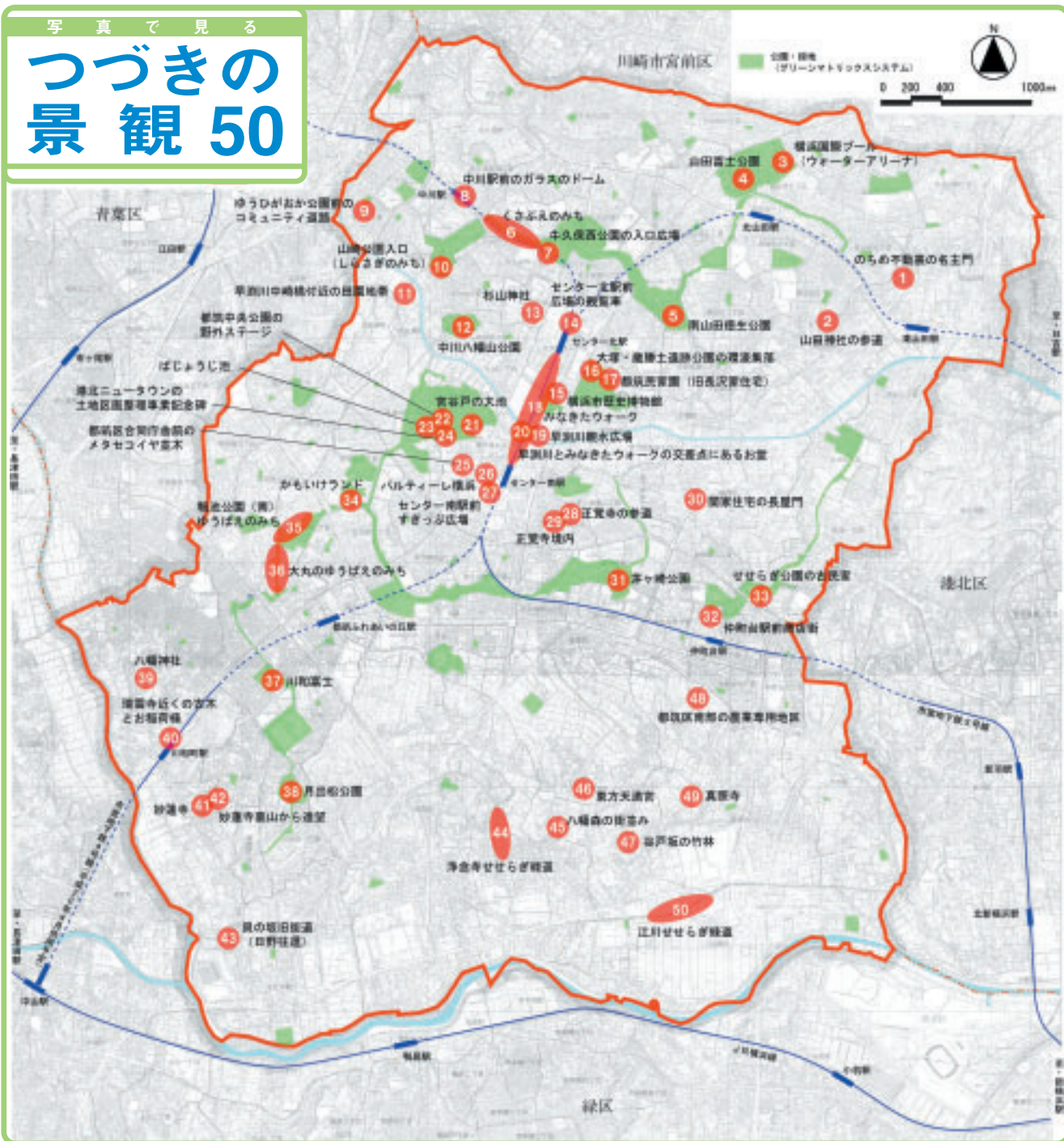
都筑区の景観募集にあたり、2ヶ月という短い募集期間にもかかわらず、たくさんの景観写真が寄せられました。区民の方々の都筑区に対する想いの強さを実感するとともに、改めて、推薦して頂いた皆様には心からお礼申し上げます。また、お寄せ頂いた全ての写真を本書に掲載できなかった事をお詫び致します。

本書掲載の写真及び説明文については、推薦者のものを掲載することを基本といたしました。

なお、推薦写真の撮影場所や説明文が分かり難いものについて、出来るだけ関係者への取材や現地確認をした上で、再撮影の写真に掲載し、説明文の補筆、加筆をいたしましたのでご了承ください。（編集者一同）

.....

写真で見る

つづきの  
景観50





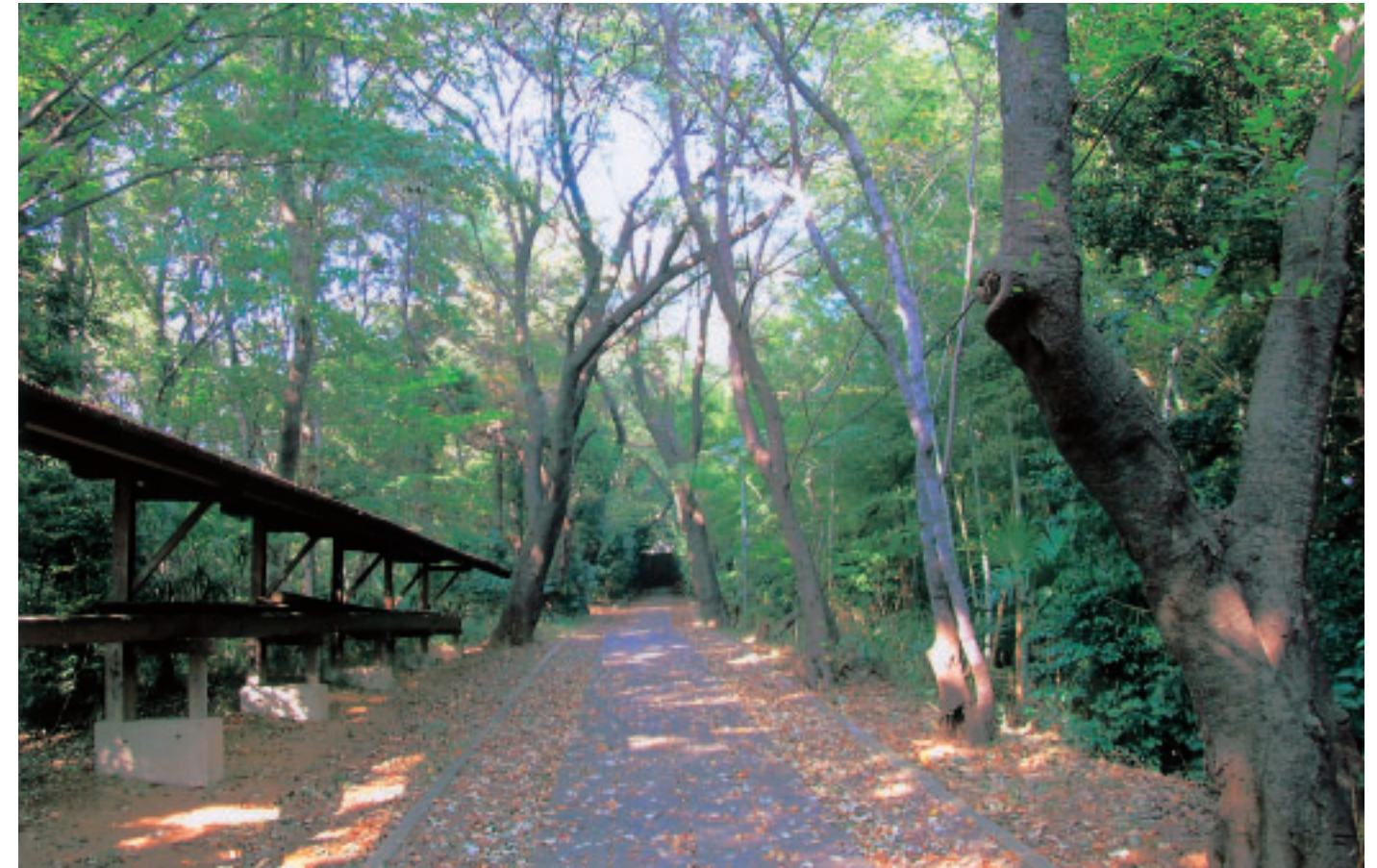
## 1 のちめ不動裏の名主門

(東山田町)

平安時代から景勝の地とされ、山田神社（南山田町）等の歴史性が色濃く残されている旧中原街道沿いの「のちめ不動」の裏側には、栗原七郎工門という名主が建てたと言われる長屋門があります。

長屋門の背後には近代的な高層集合住宅が建っており、歴史的な建造物と高層住宅群による対照的な景観を創出しています。

●交通：市営地下鉄4号線東山田駅より徒歩8分



## 2 山田神社の参道

(南山田町)

山田神社へは北側の住宅地から入る道もありますが、南側の中原街道から歩いていくことをお勧めします。

うっそうと繁る林の中で石段を登りながら250mほど歩けば、竜や鳳凰などの精巧な彫刻が施された横浜市有形文化財「山田神社」に辿り着きます。

古木に囲まれたその細長い参道は晴天の昼でも涼やかで、木々のざわめき、木漏れ日のゆらめきのひとつひとつが生命を持っているような神聖な雰囲気を感じさせます。

●交通：市営バス88系統 センター北駅よりバス【道中坂下行き】  
仲町台駅よりバス【道中坂下行き】  
「宮の下」バス停下車 徒歩1分



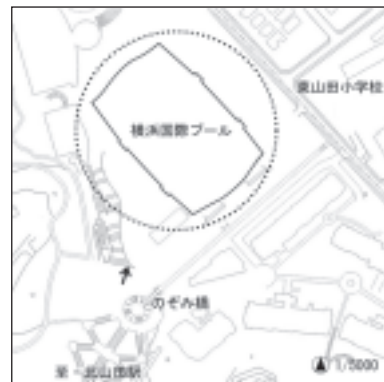


### 3 横浜国際プール（ウォーターアリーナ）（北山田7丁目）

平成10年7月にオープンした横浜国際プールは、過去にワールドカップも開催された日本最大級の国際公認プールを持つ施設です。プールなどの水泳施設の他に屋内競技のための体育室などもあり、敷地内では定期的にフリーマーケットも開催されています。

長く連なるガラスの壁面とゆるやかにカーブを描く屋根が、なだらかな地形と調和し、控えめでありながらも見栄えのする美しい景観を創出しています。

●交通：市営地下鉄4号線北山田駅より徒歩5分



### 4 山田富士公園（北山田7丁目）

江戸時代に山岳信仰の象徴となっていた山田富士のある公園です。池のほとりの斜面にはシラカシ、コナラ、シデ等の雑木林やモウソウチクの竹林があり、また当時より桜の名所としても名声を博していました。

また、隣接する山田富士の頂上からは、遠く霊峰富士山、大山などが望めます。裾野に広がる広場では、春に桜まつり、夏に盆踊り、秋に秋まつりとイベントもたくさんおこなわれ、四季を楽しむ地元住民の憩いの場として賑わっています。

●交通：市営地下鉄4号線北山田駅より徒歩3分





## 5 南山田徳生公園

(南山田1丁目)

都筑区北部にある「くさぶえのみち」につながる大きな池のある公園が南山田徳生公園です。円形の池が広大なオープンスペースを創り出し、周りには緑豊かな樹林が残され、さらに背後には高層マンションが建ち並んでいます。自然と共存する港北ニュータウンの特徴的な景観が現れています。

- 交通：東急バス北51系統  
センター北駅よりバス【東山田営業所行き】  
「牛久保東」バス停車 徒歩2分



## 6 くさぶえのみち

(牛久保西3丁目)

山崎公園から牛久保公園を經由し南山田徳生公園に続く約2.2kmの緑道は「くさぶえのみち」と呼ばれています。緑地に沿ってせせらぎが流れており、通り行く人の心をなごませています。春にはコブシ、ユキヤナギ、レンギョウが咲き、秋口には紅葉と落葉が見られます。

港北ニュータウン全域に張り巡らされた緑道空間“グリーンマトリックス”の一翼を担っています。

- 交通：市営地下鉄中川駅より徒歩5分  
市営地下鉄センター北駅より徒歩8分



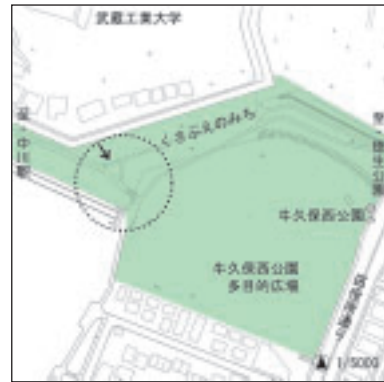


## 7 牛久保西公園の入口広場

(牛久保西3丁目)

くさぶえのみちに面する牛久保西公園の入口には休憩所があります。この休憩所は周辺に立つ木々と調和するよう、樹形に近いとんがり帽子のような屋根となっています。こうした何気ない施設のひとつひとつのものにも、関係者の景観に対する強い想いが感じられます。

●交通：市営地下鉄中川駅より徒歩10分



## 8 中川駅前のガラスのドーム

(中川1丁目)

中川駅周辺は「ネオ・ロマンチック」をイメージテーマとした街づくり協定が結ばれており、落ち着いた色調の集合住宅などが建ち並んでいます。平成10年に当時の建設大臣より「都市景観大賞」を受賞しました。

その中川駅前の中心にあり、住宅地から駅前へと続く歩行者専用道路に鎮座しているのがガラスのドームです。地域のランドマークとして、駅前に訪れる多くの方々を毎日見守っています。

●交通：市営地下鉄中川駅より徒歩1分







**9 ゆうひがおか公園前のコミュニティ道路** (中川3丁目)

ゆうひがおか公園に面する住宅地では、公園を利用する子どもたち等の安全を考えて、自動車の通過交通がないようにルートが計画され、さらに自動車の速度を落とすように道路線形を曲線にするなどの工夫がなされています。

こうした曲線状の道路線形に合わせて、沿道には丸く剪定された低木や花木などが植えられ、地域の人々により丁寧な維持管理がなされています。まるでイギリスの住宅地に来たような清潔感のある景観が創出されています。

●交通：市営地下鉄中川駅より徒歩8分



**10 山崎公園入口 (しらさぎのみち)** (中川4丁目)

道路に面する山崎公園の入口部分には、サクラやツツジ等が植えられており、住宅が建ち並ぶ道路沿いであって春先は花のゲートのような景観を創出しています。

山崎公園から都筑中央公園までを結ぶ散策ルート「しらさぎのみち」の起点となる場所です。

●交通：市営地下鉄中川駅より徒歩8分



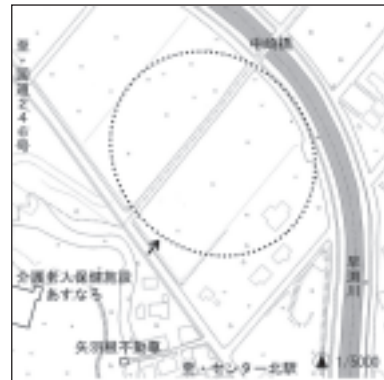


## 11 早渕川中崎橋付近の田園地帯

(荏田東町)

昭和40年頃、谷戸地形に沿って流れていた早渕川沿いには一面に田んぼが広がっていました。その田園地帯は今も一部が引き継がれています。谷戸の周囲にあった緑量豊富な丘陵は少なくなり、代わって中高層の集合住宅がちらほらと見えるようになりましたが、田園の作業風景は変わることなく、静かでゆっくりとした時の流れを感じさせてくれます。

- 交通：市営地下鉄センター北駅より徒歩15分  
市営地下鉄中川駅より徒歩15分  
東急バス南301系統／センター南駅よりバス【江田駅行き】  
「柚の木谷（ゆのきや）」バス停下車 徒歩2分



## 12 中川八幡山公園

(中川7丁目)

センター北駅西側の早渕川に沿った小高い丘の上にある中川八幡山公園には、芝生広場があります。そこには大きなソメイヨシノ10本ほどが一行に立ち並んでおり、そこからはセンター北駅方面を見渡すことができます。

眼下に広がる街並みの中で、空高く伸び広がるソメイヨシノが一層際立つ印象的な景観を創出しています。

- 交通：市営地下鉄センター北駅より徒歩10分  
市営地下鉄中川駅より徒歩10分





### 13 杉山神社

(中川6丁目)

「杉山神社」は川崎市から横浜市北部にかかる鶴見川沿いを中心に広い範囲で分布しています。中川6丁目にある杉山神社はもともと旧中川町1084番地（現在の横浜市歴史博物館周辺）にありましたが、ニュータウン建設のため一度旧中川町757に遷座した後、平成7年に現位置に移転したものです。

そのようなことから、神社内の緑の量はそれほど多くはなく、木々の合間からは伝統ある社寺建築と近代的な商業ビルとが共存する様子が良くわかります。都筑区のまちづくりを象徴する景観の一つです。

●交通：市営地下鉄センター北駅より徒歩3分



### 14 センター北駅前広場の観覧車 (中川中央1丁目)

センター北駅前のデパート屋上にある観覧車は、首都圏では珍しい建物の5階から乗れるタイプであり、観覧車からは天気が良ければ富士山や新宿副都心などを見ることができます。

夜になれば、ライトアップされた観覧車をセンター南駅や中川駅周辺等の遠方からも見ることができます。暗闇の中でひととき大きな光の輪が浮かび上がるその威容は、まさに都筑区のランドマークと呼ぶのに相応しいものです。

●交通：市営地下鉄センター北駅より徒歩1分



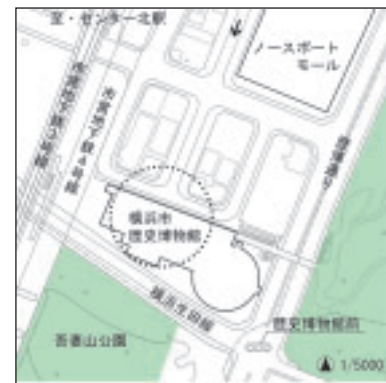


## 15 横浜市歴史博物館

(中川中央1丁目)

平成7年に開館した横浜市立歴史博物館は、大塚・歳勝土遺跡公園と一体的に整備されています。前面道路の直線上に施設の入口を設け、尖り屋根を道路の中心線上に配置し、道路から施設を見た時の対称性を強調するなど、街並みの景観に配慮した建築であり、センター北駅周辺におけるシンボル性を高めています。

●交通：市営地下鉄センター北駅より徒歩4分

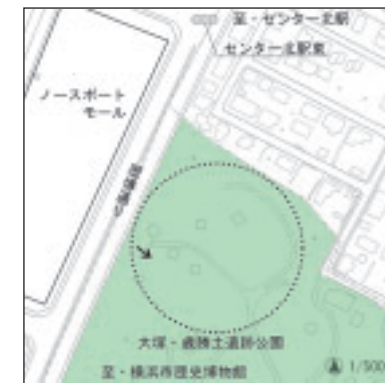


## 16 大塚・歳勝土遺跡公園の環濠集落

(大塚町)

大塚・歳勝土遺跡公園には弥生時代の集落を復元した「大塚遺跡」と、そこに住んでいた人々の墓を復元した「歳勝土遺跡」があります。その中の「大塚遺跡」には環濠に囲まれた中に竪穴住居7棟、高床式倉庫1棟が建っており、背後に建つ商業施設やマンションと合わせて見るとおよそ2,000年もタイムスリップしたような感覚を覚える景観です。昭和61年には国の史跡に指定されました。

●交通：市営地下鉄センター北駅より徒歩7分





**17 都筑民家園（旧長沢家住宅）** （中川中央1丁目）

園内には都筑郡牛久保村（現在の都筑区牛久保西）の旧家で、江戸時代に組頭や名主を勤めていたと言われる「旧長沢家」の主屋と馬屋が移築されています。平成9年に横浜市有形文化財に指定されました。

建立年代は不明ですが、主屋と馬屋が廊下で繋がれ、棟を揃えて連続して建てられている建築形式等から18世紀になってからのものと考えられています。

民家園の庭には、愛護会の方々が中心となって様々な種類の草花が植えられているほか、伝承文化講座等のイベントがおこなわれており、季節を問わず里山風情を味わうことができます。

●交通：市営地下鉄センター北駅より徒歩7分

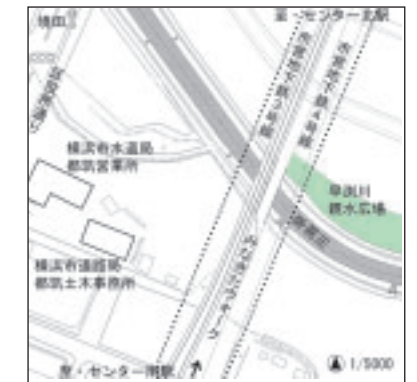


**18 みなきたウォーク**  
（中川中央2丁目）

センター北駅からセンター南駅間を結ぶ直線約800mの新しい遊歩道「みなきたウォーク」が平成19年4月に整備されました。名称は区民からの公募によって選ばれ、南北のセンター地区と中央地区の交流を促進する役割が期待されています。

遊歩道の左右の上空には市営地下鉄の高架陸橋が平行しており、駅舎や駅前の商業施設、高層住宅群とともに直線的で都会的な景観を創出しています。

●交通：市営地下鉄センター北駅より徒歩1分  
市営地下鉄センター南駅より徒歩1分





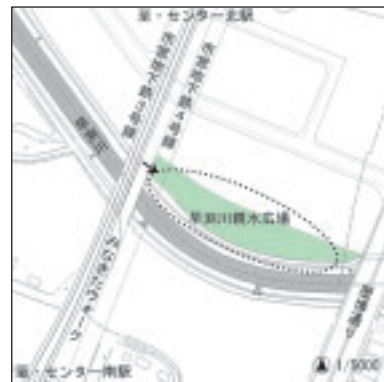
## 19 早渚川親水広場

(中川中央2丁目)

早渚川とみなきたウォークが交差する場所に、実際に自然の川に触れられるピオトープ（生物空間）が整備された早渚川親水広場があります。平成19年4月にオープンされた新しい広場です。

広場には港北ニュータウンの土地区画整理事業完了を記念する桜並木も植樹され、徐々に河川兩岸の緑化も進んでいます。タウンセンター地区のオアシスとして、これから多くの人の笑顔が見られるでしょう。

●交通：市営地下鉄センター南駅より徒歩3分  
市営地下鉄センター北駅より徒歩6分

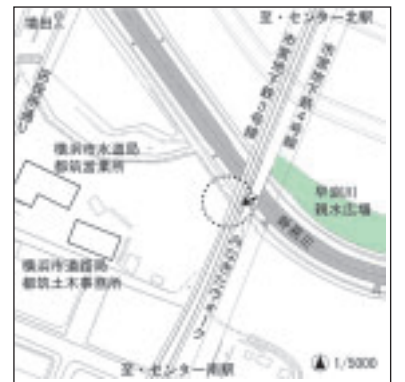


## 20 早渚川とみなきたウォークの交差点にあるお堂 (中川中央2丁目)

早渚川とみなきたウォークが交差する場所に「堰の元地蔵尊」と呼ばれているお地蔵様が納められているお堂があります。このお地蔵様は別名「子育て地蔵」とも呼ばれ、かつては、お宮参りや七五三のお参りのときに家族で参詣する慣わしがありました。

港北ニュータウンの開発に伴い、現在地に移転されましたが、今もみなきたウォークや早渚川沿いを通る多くの人々を静かに見守り続けています。

●交通：市営地下鉄センター南駅より徒歩3分  
市営地下鉄センター北駅より徒歩6分





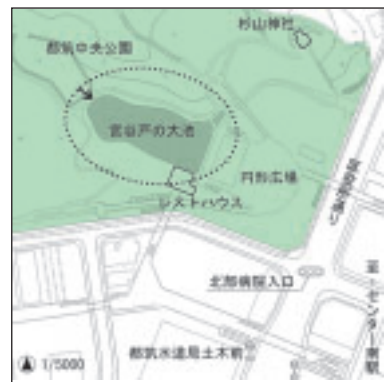
## 21 みやと 宮谷戸の大池

(茅ヶ崎中央)

都筑中央公園の南西部にある宮谷戸の大池は、回遊する鯉と常時訪れる野鳥の群れ、または、水面に写される周辺の木々の美しさなどが人気を博しています。

池の周囲を取り巻くシラカシ・コナラ等の雑木林の中、池の東側の一部にイロハモミジの樹林地があり、紅一点とばかりに色づく秋の紅葉に包まれた風景もまた一見に値します。

●交通：市営地下鉄センター南駅より徒歩5分



## 22 都筑中央公園の野外ステージ

(荏田東4丁目)

既存地形の高低差を上手に活用し、周辺の樹木を保全してつくられた半円形のギャラリーと木製のステージで作られた野外ステージです。保存樹木が大半を占める都筑中央公園の中では一番の大きさを持つ広場です。

時には小学生の課外学習の場として、時には自然林に囲まれてランチタイムを楽しむ場所として多くの人々に利用されています。

●交通：市営地下鉄センター南駅より徒歩7分





## 23 ばじょうじ池

(荏田東4丁目)

都筑中央公園の中央南側にある保存樹林に囲まれた谷戸に「ばじょうじ池」があります。周辺には山小屋を思わせる意匠の休憩所や体験農地、炭焼きの窯などがあり、里山環境を楽しめるさまざまな体験活動が実施されています。

かつての都筑の原風景を思い起こすような、水と緑のある里山景観を残す場所として、多くの人々が散策等で訪れています。

●交通：市営地下鉄センター南駅より徒歩7分



## 24 港北ニュータウンの土地区画整理事業記念碑 (荏田東4丁目)

都筑中央公園の展望台に港北ニュータウン建設の記念碑があります。円環を形づくっている異なる表情を持つ3つの弧は、未来に向かって発展する街・港北ニュータウンの実現を目指して、一体となって力を合わせてきた地元4地区協議会、住宅・都市整備公団(現・都市再生機構)、横浜市の3者をそれぞれ表現しています。

●交通：市営地下鉄センター南駅より徒歩6分







**25 都筑区合同庁舎前のメタセコイヤ並木** (茅ヶ崎中央)

センター南駅周辺には、区役所、郵便局、銀行、病院、警察、図書館等の公共施設がまとまっており、センター南駅からゆったりした歩行者専用道路で結ばれているため、誰でも安心してこれらの施設を訪れることができます。

その中心にメタセコイヤの並木道があり、区民利用施設が建ち並ぶ“街の顔”として相応しい、格式のある印象的な景観が創出されています。

●交通：市営地下鉄センター南駅より徒歩3分



**26 パルティール横浜** (茅ヶ崎中央)

センター南駅の駅前広場には一見教会を思われる美しい結婚式場があります。その美しさは、映画やテレビの撮影などにも使われているほどです。

華やかな中庭が見通せるオープンなつくりや印象的な外観、結婚式で流れる鐘の音、参加者の喜びの声などが駅前広場で休む人々の心を和ませます。

●交通：市営地下鉄センター南駅より徒歩1分





## 27 センター南駅前すきっぴ広場

(茅ヶ崎中央)

センター南駅の通路を出たところにある広場は「すきっぴ広場」と呼ばれています。この屋外ステージでは休日に様々なイベントが行なわれており、駅の利用者や買い物に来た人も足を止めてイベントを楽しんでいます。

階段式のウッドデッキに家族や友達同士でお弁当を広げていたり、遊んでいたりと笑い声が絶えることのない広場は、公共機関や大学病院、商業施設が立地するセンター南駅前の賑わいの中心地となっています。

●交通：市営地下鉄センター南駅より徒歩1分



## 28 正覚寺の参道

(茅ヶ崎東3丁目)

センター南駅の東側にある正覚寺はアジサイの咲いているお寺として有名ですが、正門をくぐった瞬間は「静寂な空間」が待ち受けています。立派な並木道の手前にはお地蔵様が並んでおり、見ていると心の中が洗い流されるような感じを覚えます。どこか懐かしさのある景観です。

●交通：市営地下鉄センター南駅より徒歩7分



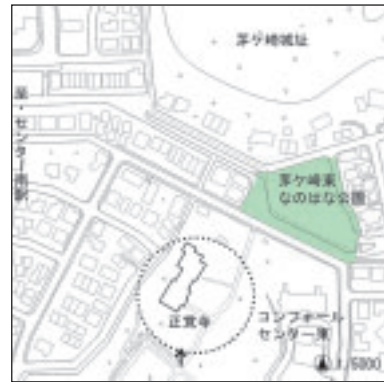


## 29 正覚寺境内

(茅ヶ崎東3丁目)

アジサイ寺と言えば鎌倉が思い出されますが、都筑区のアジサイ寺と言えば、茅ヶ崎東3丁目の正覚寺です。境内は広く、参道や庭園も常に整備され、赤・青・紫に染め上げられたアジサイやハナショウブが咲き乱れる6月には、色鮮やかで見事な景観を創出しています。

●交通：市営地下鉄センター南駅より徒歩7分



## 30 関家住宅の長屋門

(勝田町)

中原街道沿いにある関家住宅は、17世紀前半に建てられた東日本で最も古い民家といわれており、主屋と書院、長屋門が国の重要文化財に指定されています。寄棟造の長屋門とよく手入れされた庭、屋敷周辺の豊かな自然による里山景観が創出されています。

関家は村の名主や代官を務めてきた家系であり、茅葺の立派な長屋門を見る度に、昔と変わらぬ荘厳な雰囲気を感じさせます。

●交通：市営バス88系統センター北駅よりバス【道中坂下行き】  
仲町台駅よりバス【道中坂下行き】  
「勝田消防署前」バス停車 徒歩2分





### 31 茅ヶ崎公園

(茅ヶ崎南1丁目)

南側は視界の開けた高台、北側は自然地形を活かした公園、西側は昔の谷戸田や溜め池などが保存され、平成8年に「緑の都市賞」を受賞した茅ヶ崎自然生態園、東側は木々に囲まれた広場等、茅ヶ崎公園は広大な敷地の中に多彩な“顔”を持っています。

周辺が宅地化された今も静けさを保っており、また、公園全体が紅葉時には赤や黄色の樹木に彩られ、紅葉の名所を思わせる景観を創出しています。

- 交通：市営地下鉄仲町台駅より徒歩12分  
市営バス303系統/センター南駅よりバス【新北川橋行き】  
「茅ヶ崎中学校前」バス停下車 徒歩2分



### 32 仲町台駅前商店街

(仲町台1丁目)

駅からの遊歩道に沿って形成された仲町台駅前商店街一帯は、「ネオ・クラシック」をイメージテーマとした街づくり協定が結ばれています。平成10年には当時の建設大臣より「都市景観大賞」を受賞しました。

緑に溶け込んだ西洋風の商店街が形成されており、建物に囲まれた広場で笑い声をあげる子どもたちを見ていると、本当に外国にきたような錯覚すら覚えます。

- 交通：市営地下鉄仲町台駅より徒歩1分





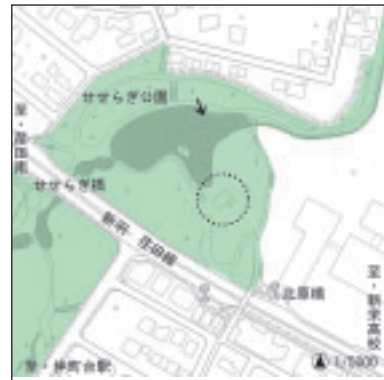
### 33 せせらぎ公園の古民家

(新栄町)

池のほとりのある建物は、当時の横浜市緑区荏田町にあった江戸中期～後期建造の内野家住宅を移築したものです。

自然林とスイレンが浮かぶ池に囲まれながら静かに佇むその姿を見ていると、古民家に住んでいた方々の暮らしが思い起こされます。

●交通：市営地下鉄仲町台駅より徒歩5分



### 34 かもいけランド

(荏田3丁目)

建物の中に滑り台や登り棒、地下迷路などが備えられたかもいけランドは、子どもたちのための施設です。休日には多くの子どもたちの歓声が響いています。

建物は外壁をログハウス調にし、高さを周辺の木よりも低くして、公園の景観に調和するように配慮されています。特に、秋の黄葉に囲まれながら木漏れ日の中で佇む様相がすばらしい。

●交通：市営地下鉄センター南駅より徒歩15分  
市営地下鉄4号線都筑ふれあいの丘駅より徒歩15分





**35 鴨池公園（南）のゆうばえのみち** (荏田南1丁目)

たけ（たけのこ）は都筑の古くからの特産物であり、現在でも都筑区南部を中心に竹林が多く見られます。「ゆうばえのみち」のしいの木台ハイツ周辺では、短い距離ではありますが、緑道に面して竹林が形成されており、緑道を散策する者に夏の涼風と竹の風鈴の音を運んでくれます。

●交通：市営地下鉄4号線都筑ふれあいの丘駅より徒歩8分



**36 大丸のゆうばえのみち** (大丸)

ゆうばえのみちは鴨池公園と月出松公園を結ぶ約2.0kmの緑道ですが、その中でも、大丸のメゾン桜ヶ丘の周辺は静かな公園の雰囲気を楽しめます。

晩秋になると緑道沿いの木々が一齐に落葉し、谷戸形状の底にある園路一帯は赤や黄色の木の葉の絨毯で敷詰められます。道を歩くごとにカサカサと鳴る快い音色は音の景観とも言えます。

●交通：市営地下鉄4号線都筑ふれあいの丘駅より徒歩5分





### 37 川和富士

(富士見が丘)

江戸時代に霊山として人々の崇拝を受けていた富士山へ参拝できない人のために、富士山を模した富士塚が築かれました。そのひとつが川和富士（塚）です。

現在の川和富士は復元されたもので整った美しい形を持ち、地域のシンボリックな存在となっています。また、標高74mの頂上からは、都筑区内はもちろん、天気の良い日は富士山や大山から、はるか南アルプスの北岳の雄姿も望めます。

- 交通：市営地下鉄4号線都筑ふれあいの丘駅より徒歩8分  
市営バス80・305・310系統  
センター南駅よりバス【石橋行き】「タヤけ橋」バス停下車 徒歩3分



### 38 月出松公園

(加賀原1丁目)

「ゆうばえのみち」南端にあるなだらかな丘陵地が月出松公園です。緩やかな傾斜の芝生広場からは横浜市資源循環局都筑工場の大きな煙突が見え、冬場の落葉時には池辺の農業専用地区も見えます。

また、公園の西側からは川和町の街並みが一望できます。緑道を散策してこの公園に辿り着いた時に見る夕焼けの景色は、きっとそれまでの疲れを吹き飛ばしてくれることでしょう。

- 交通：市営地下鉄4号線川和町駅より徒歩15分  
市営バス310系統／センター南駅よりバス【石橋行き】  
「川和台」バス停下車 徒歩2分





### 39 八幡神社

(川和町)

川和町の桜の老木のある長い参道を抜けると、鮮やかな朱色の鳥居が現れます。その奥に鎮座するのが八幡神社です。現在の祭神は八幡大神ですが、以前は近傍でよく川が荒れていたことから河輪神かまわしんという『川の様』をお祭りしていたそうです。

境内には桜や杉の大木が100本以上もあり、毎年花見客で賑わっています。また、(旧)川和富士の頂上にあった浅間大神の石祠が祀られています。

●交通：市営地下鉄4号線川和町駅より徒歩5分



### 40 瑞雲寺近くの古木とお稲荷様

(川和町)

市営地下鉄川和町駅近くの旧道の交差点にムクロジの古木が立っています。樹齢約500年、根回り約5m、高さ約15mの立派な古木の足元では、まるで時間が切り取られたかのようにお稲荷さまと道祖神が行んでいます。

●交通：市営地下鉄4号線川和町駅より徒歩1分







#### 41 妙蓮寺

(川和町)

妙蓮寺は都筑区唯一の日蓮宗の寺で、日蓮の孫弟子の朗慶が開山した由緒ある名刹です。1736年頃に全てを焼失し、現本堂は寛政5年（1793年）に再建されました。境内には古木が多く、春のサクラ、秋のイチョウの黄葉は見事です。

力強い山門の前には、港北ニュータウン事業による墓の移転者一同の寄進による日蓮大聖人の記念碑が立っています。

●交通：市営地下鉄4号線川和町駅より徒歩5分



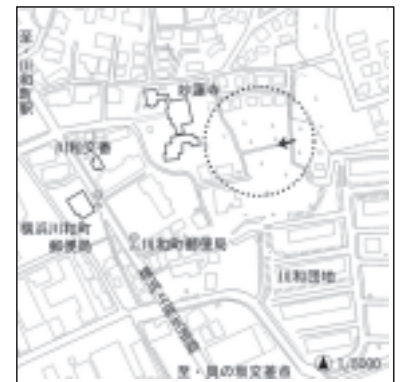
#### 42 妙蓮寺裏山からの遠望

(川和町)

妙蓮寺の裏手にある原地形を活かした高台の墓地からは、南西方向一面に視界が開けており、谷本川沿いの工場地帯や緑区の住宅地、遠くは丹沢、富士山がよく見えます。

周辺には住宅が建てられ、見える景色は変わりましたが、ここに立って遠くを見ると、ここに眠る先人達と一緒に昔に思いをはせながら、富士山の景色を見ている気になります。

●交通：市営地下鉄4号線川和町駅より徒歩6分





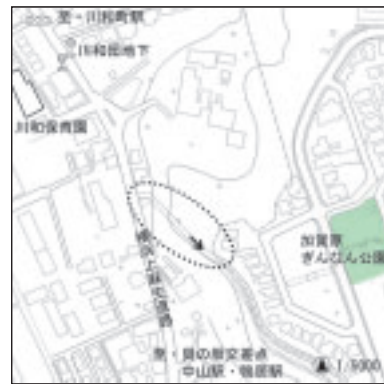
### 43 貝の坂旧街道（日野往還）

（川和町）

東海道と中原街道、大山街道（矢倉沢往還）を結ぶ日野往還（現在の県道上麻生線）のルートとして、明治30年頃まで使用されていた「貝の坂」と呼ばれる山越えの旧道です。かつては、神奈川宿や横浜で消費される生活物資の運搬道路として利用されてきました。

現在も旧道は通行可能であり、200mほどの山越えの道がほぼ当時のまま残されています。

- 交通：市営地下鉄4号線川和町駅、JR鴨居駅、JR中山駅より徒歩20分  
市営バス80・305系統／センター南駅よりバス【中山駅北口行き】  
「貝の坂」バス停車 徒歩2分



### 44 浄念寺せせらぎ緑道

（池辺町）

都田幼稚園から浄念寺までの間を結ぶ「せせらぎ緑道」は、かつての用水路を緑道として再現した遊歩道です。道沿いには緑が多く、せせらぎの水量も豊富でいつも小気味良い水の音が響いており、心の休まる景観が創出されています。

- 交通：市営バス310系統  
センター南駅よりバス【仲町台駅行き】  
仲町台駅よりバス【センター南駅行き】  
「池辺」バス停車 徒歩8分



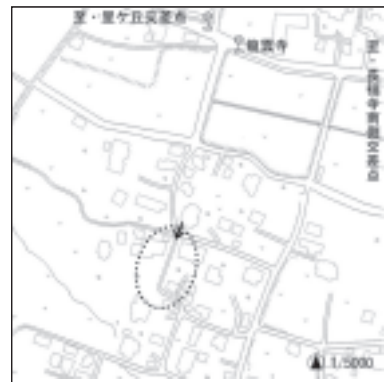


#### 45 八幡森の街並み

(東方町)

東方町の龍雲寺の南側に大きな石の擁壁と見事な竹垣が50mぐらい続く小道があります。よく手入れの行き届いた生垣、竹林、植栽があり、道路もきちんと清掃された小道には、京都を感じさせる静かな深みのある雰囲気漂います。

- 交通：市営バス308系統センター南駅よりバス【仲町台駅行き】  
仲町台駅よりバス【センター南駅行き】  
「龍雲寺」バス停車 徒歩1分



#### 46 東方天満宮

(東方町)

東方町のバス通りに面する東方天満宮には学問の神様菅原道真が祭られており、境内には横浜市の名木古木に指定されたイチョウとケヤキがそびえ立っています。また、石段を上った広場の東手には約250本もの梅の木が植えられており、2月下旬の満開の頃には多くの方々が訪れます。

参道のふもとには東方町会館と青少年ホールもあり、地域コミュニティの拠点となっています。

- 交通：市営バス308系統 センター南駅よりバス【仲町台駅行き】  
仲町台駅よりバス【センター南駅行き】  
「天満宮」バス停車 徒歩3分





#### 47 谷戸坂の竹林 (東方町)

東方町の農業専業地区よりもさらに南方の住宅地に行く途中の坂道は谷戸坂と呼ばれており、あたり一面竹林に覆われて昼でも薄暗い空間となっています。

日中もとても静かで鳥の鳴き声や竹をゆらす風の音が聞こえ、神秘的な空間を創出しています。都筑の原風景と呼ばれる景観の中でも風情を感じさせる古道です。

- 交通：市営バス300・310系統  
センター南駅よりバス【仲町台駅行き】  
仲町台駅よりバス【センター南駅行き】  
「東方町」バス停車 徒歩3分



#### 48 都筑区南部の農業専用地区 (折本町)

仲町台駅から南側に歩き、新横浜元石川線の歩道橋を越えて階段を登ると、見渡す限り一面に農地が広がって見えます。都市と農業が調和することを目的とし、港北ニュータウン事業の一環として、昭和44年から農道整備などの総合的な農業生産基盤整備がおこなわれた約230haもの農業専用地区です。これは港北ニュータウンの面積の約10%に相当します。

ここでは、このまちに住む人々にとって「ふるさと」を思い起こす景観があります。

- 交通：(折本町の農業専用地区まで)  
市営地下鉄仲町台駅より徒歩5分





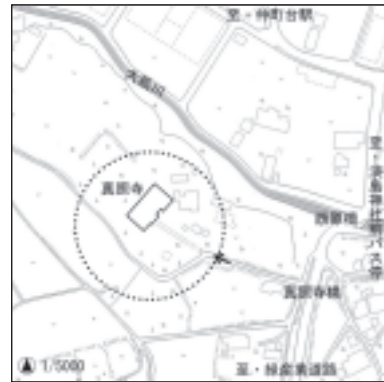
## 49 真照寺

(折本町)

風格ある山門をくぐると右手に大王松、左手に名木古木指定のハクモクレン、サルズベリが迎えてくれます。また、境内には阪神タイガースの球団歌「六甲おろし」の作詞者として知られ、都筑の豊かな自然をたたえた佐藤惣之助や大野林火、中戸川朝人の句碑があります。

寺の周辺には農地が広がっており、自然樹林も多いせいか、時間の流れを感じさせない静かな景観がここにはあります。

- 交通：市営バス300・310系統 センター南駅よりバス【仲町台駅行き】  
仲町台駅よりバス【センター南駅行き】  
「淡島神社前」バス停下車 徒歩3分



## 50 江川せせらぎ緑道

(川向町)

江川は昭和30年代まで農水路として使われた後は排水路として利用されてきました。その後、公共インフラの発達によって、その役割を終えることとなった江川は、上流の都筑水再生センターから処理水を活用し、全長約1kmの「江川せせらぎ緑道」として平成8年に生まれ変わりました。

この素晴らしい環境を維持保全すべく、愛護会の会員の方々や、川沿いの企業の方々が協同して緑道の草刈や清掃、チューリップの植栽等をおこなっています。

- 交通：市営バス300・310系統 仲町台駅からバス【センター南駅行き】  
「折本町」「前耕地」「東方町」バス停のいずれかで下車徒歩3分  
仲町台駅からバス【新横浜駅行き】「新開橋」バス停下車徒歩5分



## ■ 景観写真集出版までの活動経緯

### □ 「わがまち・つづきの景観展」の開催

平成18年の9月初めから広報区版や、都筑区内の各主要施設に設置されたPRボックスの案内パンフレットを通して都筑区内の「景観」の募集を開始しました。2ヶ月という短い募集期間であったにもかかわらず、10月末までに一般の方々から全98点の景観写真が寄せられました。

これらの都筑区の魅力的な景観資源を区民の方々に広くPRすることを目的とし、11月に区民の方々から推薦された景観写真を都筑区総合庁舎1階区民ホールにて展示する「わがまち・つづきの景観展」を6日間開催しました。

開催時期が都筑区の区民祭りと重なったため、多くの方が来場されました。期間中は、撮影した場所についての問合せや、「他にも良いところを知っている」といった御意見が寄せられました。



景観募集パンフレット



わがまち・つづきの景観展の様子／平成18年10月31日(火)～11月5日(日)

### □ 景観50選の選考

展示会での一般の方からの御意見、御要望を頂く中で、さらに募集期間を1ヶ月間延長しました。その結果、最終締切となった11月30日(木)までに約200点の写真、計74箇所の都筑区の「景観」が寄せられました。

その後、推薦された全ての「景観」の現地確認をおこなうとともに、有志と公募区民とで構成された景観選考委員において、都筑区の魅力となる「景観30選」の景観選考作業を進めて参りました。

しかしながら、御推薦頂きました景観がどれも魅力的なものであったため、作業は難航しました。そこで、できるだけ多くの魅力的な景観を区民の方々に知ってもらいたいという企画の主旨に立ち返り、当初考えておりました30選の対象の枠を50選まで拡大し、平成19年3月の景観選考委員会の場において、50箇所の景観を選考しました。



50箇所の景観選考の様子

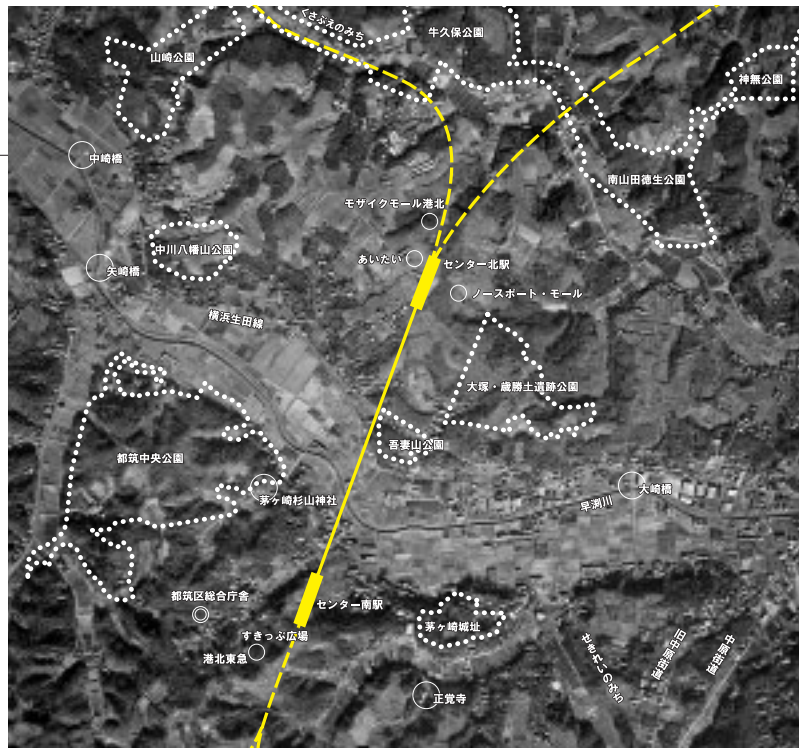
## ■都筑区の主な歴史

約1万年前	都筑区域に人の住居が認められる。 (花見山遺跡、月出松遺跡)	1939年(昭和14年)	第6次市域拡張が行なわれ港北区誕生。 この時、横浜市・川崎市に都筑郡を 編入、都筑の地名が消える。
約6000年前	都筑区域中央部に海が入り込み、貝 塚が形成される。(折本貝塚、茅ヶ崎 貝塚)	1965年(昭和40年)	港北ニュータウン開発事業計画発表
1世紀～	稲作が始まり、高床式倉庫を備えた 集落が出現。(大塚・歳勝土遺跡)	1990年(平成2年)	第一地区街びらき
18世紀	大山参詣や富士参り流行、大山道が にぎわい宿場ができる。	1993年(平成5年)	市営地下鉄3号線新横浜駅～あざみ野 駅間開通
1871年(明治4年)	廃藩置県により「神奈川県都筑郡」 となる。	1994年(平成6年)	11月6日「都筑区」誕生 「ゆめはま2010プラン」基本計画及 び都筑区計画策定
1889年(明治22年)	横浜に市制施行。	1995年(平成7年)	横浜市歴史博物館開館 中央地区土地区画整理事業区域を都 市計画決定

1995年(平成7年)	第三京浜道路「都筑インターチェン ジ」開通	2000年(平成12年)	モザイクモール港北開業 都筑警察署開設
1996年(平成8年)	都筑区総合庁舎開設 グリーンマトリックスシステム「緑 の都市賞」内閣総理大臣賞を受賞	2001年(平成13年)	昭和大学横浜市北部病院開院
1997年(平成9年)	武蔵工業大学開設	2002年(平成14年)	都筑大橋開通 都筑郵便局開局
1998年(平成10年)	ショッピングタウンあいたい・港北 東急百貨店SC開業 横浜国際プール開設	2003年(平成15年)	鴨池大橋開通
1998年(平成10年)	港北ニュータウンタウンセンター地 区「都市景観大賞」建設大臣賞を受賞	2005年(平成17年)	港北ニュータウン中央地区土地区画 整理事業完了
		2006年(平成18年)	都筑スポーツセンター開所
		2007年(平成19年)	みなきたウォーク開通
		2008年(平成20年)	市営地下鉄4号線開通予定

### ■センター北駅・センター南駅周辺の昔の様子

※図は航空写真に土地利用計画図を重ね合わせたものです。実際の計画範囲とは異なる可能性があります。



写真：  
都市基盤整備公団  
(現 独立行政法人都市再生機構)  
昭和48(1973)年撮影

### ■センター北駅・センター南駅周辺の様子

※図は航空写真に土地利用計画図を重ね合わせたものです。実際の計画範囲とは異なる可能性があります。



写真：  
都市基盤整備公団  
(現 独立行政法人都市再生機構)  
平成10(1998)年撮影

## 「一写真で見る一つづきの景観50」の発刊にあたって

今の都筑区一帯は、かつて豊かな自然環境に恵まれた農業地でした。

やがて、都市化の波が進むと農地や山林が少しずつ宅地化されていきました。いわゆるスプロール化を防ぐべく、「乱開発の防止」「都市農業の確立」「市民参加のまちづくり」を理念とし、都筑区の大半を占める港北ニュータウン開発事業がおこなわれました。

大規模な計画的都市化という転換を経て現在に至る都筑区では、歴史を感じさせる資源が数多く残されている一方で、ニュータウン開発事業に伴う様々な生活利便施設や原地形を極力活かした公園緑地に囲まれた住宅地等が整備され、都筑区の人口も若い世代を中心に毎年着実に増え続けています。

そんな港北ニュータウンも1983年の街びらきから20数年が経過し、まちとして成熟してきました。『歴史資源、自然資源と新しい都市が、人と共に融合しつつある街』。これが都筑区を表す言葉ではないでしょうか。

今回、私達は“古くからの歴史・自然環境”と“新しい都市”の2つの顔を持つ都筑区がこの先、どのような姿になっていくのか、そして、区民の方が都筑区をどのように捉えているのか、これらを把握する過程として、現時点での写真記録を残しておきたいと思い都筑区の景観を募集しました。

そして、多くの区民の方々から推薦していただいた魅力的な「景観」の中から、「50箇所の景観」を委員会で選考していただき、1冊の本にして発刊することになりました。この魅力的な「景観」を区民の方々をご覧になり自分達の住むまちの素晴らしさ、まちづくりの大切さを認識していただければ幸いです。

区民の方々のまちに対する一層の愛着や理解により、まちづくりが推進され、都筑区の魅力的な「景観」がずっと在り続け、さらには新たな「景観」が発見され、創り出され、「ふるさと都筑」が形成されていくことを期待しております。

特定非営利活動法人 港北ニュータウン記念協会

理事長 金子 保

### ■景観推薦に際しての協力者 (50音順・敬称略)

赤坂 嘉一、秋山 満、浅羽 良和、芦川 健一、男全 富雄、金子 三千男、鍋木 泰、川手 昭二、川本 久美子、倉持 彦弥、栗原 貞夫、柴山 洋、清水 浩、末永 範雄、鈴木 兼光、高橋 英一、高橋 俊光、武山 よし子、千原 康夫、千葉 茂樹、野原 月見、羽田野 裕、福富 洋一郎、増田 敏、増田 澄子、松崎 雅則、皆川 健一、柳沢 光賢、山岸 紀美江、山田 美千子、山本 薫、山本 智子

### ■参考資料

- 『港北区史』(S61.3.31) / 港北区郷土史編纂刊行委員会
- 『大榎中川宗教法人杉山神社』(H7.10.15) / 発行者：大榎・中川 杉山神社建設委員会
- 『都筑の丘そぞろ歩き2』(S56.3.31) / 石井賢次郎 大塚巖徳 鈴鹿正和 / 編集発行：緑区郷土史研究会
- 『創立四十周年記念誌「川和」』(S63.5.15) / 横浜市立川和小学校創立40周年記念事業実行委員会
- 『重要文化財関家住宅主屋・書院および表門保存修理工事報告書』(H17.10) / 著作・編集：財団法人文化財建造物保存技術協会 / 発行：関恒三郎
- 『港北フィールド・ガイドⅡ』(H4.3.31) / 発行：横浜市港北区役所 / 編集：フィールド・ガイド編集委員会
- 『よこはまの古寺と仏像を訪ねて』(H4.1.10) / 編集・撮影・発行者：松本茂夫
- 『横浜・緑区歴史の舞台を歩く』(H3.11.10) / 著作者：相澤雅雄 / 発行者：高橋賀寿雄
- 『緑区史 通史編』(H5.2.28) / 編集：緑区史編集委員会 / 発行：緑区史刊行委員会
- 『横浜市港北ニュータウン郷土誌都筑の民俗』(H1.5.15) / 港北ニュータウン郷土誌編纂委員会
- 『大塚・歳勝土遺跡公園・都筑民家園五年のあゆみ』(H13.10.13) / 編集・発行：都筑民家園愛護会
- 『港北ニュータウン地域内埋蔵文化財調査報告X 全遺跡調査概要』(H2.3.20) / 財団法人 横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財センター
- 『「とうよこ沿線」創刊20周年記念わが町の昔と今 第4巻 都筑区&城郷編』(H13.11.15) / 「とうよこ沿線」編集室



—写真で見る— つづきの景観50

---

発行 2008(平成20)年1月3日  
発行者 特定非営利活動法人 港北ニュータウン記念協会  
〒224-0006 横浜市都筑区荏田東4丁目10番3号  
TEL 045-942-8745 FAX 045-942-8972  
編集 株式会社山手総合計画研究所 高田 剛維  
〒231-0007 横浜市中区弁天通3丁目48番  
県住宅供給公社弁天通三丁目第二共同ビル2階  
TEL 045-662-4836 FAX 045-681-5436  
印刷・制作 神奈川新聞社 TEL 045-227-0820 FAX 045-227-0815

---

T S U Z U K I

写真で見る  
つづきの景観50

